



襖絵墨書 乾坤無妙(けんこんむみょう) 1965年 パラミタミュージアム蔵



鴛鴦(えんおう)の柵(鐘溪頌(しょうけいしょう)の内) 1945年 南砺市立福光美術館蔵

生誕
120年記念

Munakata Shiko

2023
年4月1日(土) ~ 6月4日(日)
※会期中無休

棟方志功

展

開館時間：午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
入館料：一般1,000円(4枚セット券3,000円)／大学生800円
高校生500円／中学生以下無料
主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
後援：中日新聞社／読売新聞社／朝日新聞社／三重テレビ放送
特別協力：南砺市立福光美術館(富山県)

ご来館の際は、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症の予防にご協力ください。

関連イベント

記念講演会

- 日時：4月16日(日) 午後2時～午後3時30分
- 演題：「棟方志功 一出会いと作品」
- 講師：石井頼子(棟方志功研究家)
- 参加料：無料(要入館券)

※整理券を当日午後1時から配布します、先着100名

※イベントは諸事情により、中止になる場合がございます

棟方志功展

青森に生まれた棟方志功(むなかた・しこう/1903-1975(明治36年~昭和50年))は、日本の版画界を代表する作家として活躍しました。その作品は日本の伝統芸術である板目木版画が持つ大画面の特性を生かした独自の表現で、世界的に高い評価を受けています。

1924(大正13)年に上京後、帝展・国画会展に出品を重ね、1936年第11回国画会展出品を機に、民藝運動の柳宗悦、河井寛次郎、濱田庄司らと出会い、その交流は生涯続きました。棟方を代表する裏彩色という技法のヒントを得たのもこの頃でした。また、棟方は1945年4月より6年8ヶ月の間、東京から富山県福光町(現・富山県南砺市)に疎開し、当地で約2000点もの作品を生み出すなど、精力的に制作を続けました。

本展では棟方志功生誕120年を記念し、戦前の代表作《二菩薩釈迦十大弟子》をはじめ、福光時代に制作した《火の願ひ板画柵(詩・河井寛次郎)》《女人観世音板画卷(詩・岡本かの子)》、また1956年に第28回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に出品し国際版画大賞を受賞し「世界のムナカタ」と認められた《柳緑花紅頰》など、戦前から戦後にかけての代表作を一堂に展示するとともに、京都の個人邸宅内に筆をふるった襖絵など、貴重な肉筆画もあわせてご紹介いたします。

*裏彩色・・・和紙の裏から絵の具を染み込ませること



① 華狩頰(はなかりしょう) 1954年



② 優妻夷(うはい)の柵(観音経板画卷の内) 1938年



③ 倭桜(やまとざくら)の柵(鐘溪頰(しょうけいしょう)の内) 1945年



④ ミシシッピ河の自板像の柵 1965年



⑤ 襖絵 樹林 1965年



⑥ 二菩薩釈迦十大弟子(菩薩改刻後) 1939-1948年板・1963年摺



所蔵：①③南砺市立福光美術館、②④⑤⑥パラミタミュージアム

会期中のイベント ※イベントの詳細については、公式HPをご確認ください

●第19回子ども写生大会

5月5日(金・祝)午前10時~午後3時
※午前・午後二部制、要事前申込

●パラミタコンサート からくり人形が「能」を舞う

5月14日(日)午後2時~午後3時 無料(要入館券)

次回展示のお知らせ

会期 **2023.6.8(木) ▶ 7.30(日)** **第17回パラミタ陶芸大賞展**

投票期間 6/8(木)~7/13(木) **大賞発表式 7/23(日)**

国内の美術館・画廊・美術評論家などの推薦により上位6名をノミネートし、投票期間中の美術館来館者の投票により大賞を選びます。最多得票数獲得者一名に、第17回パラミタ陶芸大賞を授与します。

同時開催 **小嶋千鶴子 作陶の軌跡展**

■お車をご利用の場合/○東名阪[四日市IC]より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神[福野IC]より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車場)
■電車をご利用の場合/近鉄[四日市駅]より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備

●出品作家(五十音順)
奥 直子(愛知県)、川瀬理央(静岡県)
佐合道子(石川県)、酒井智也(愛知県)
高山 大(三重県)、戸田浩二(茨城県)

